

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 07095652 A

(43) Date of publication of application: 07 . 04 . 95

(51) Int. CI

H04Q 7/34 H04Q 7/22 H04Q 7/28

(21) Application number: 05233767

(22) Date of filing: 20 . 09 . 93

(54) PERSONAL NUMBER ALLOWING MOBILE COMMUNICATION SYSTEM

(57) Abstract:

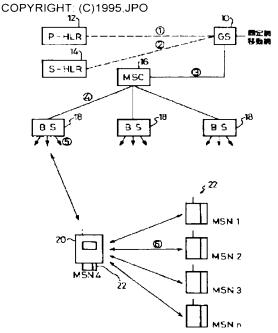
PURPOSE: To provide a personal number allowing mobile communication system, a mobile equipment and a card for the system by which to which subscriber a call comes is recognized immediately when the call comes to a mobile equipment, in which the registration of the subscriber to the mobile equipment is automatically released even when the subscriber forgets the release of the registration and which has a coping means coping with an event of the arrival of a call when the call comes to the subscriber not resident in the vicinity of the mobile equipment.

CONSTITUTION: A transmission reception means of a small power, for example, capable of communicating between a mobile equipment 20 and a card 22 are located within a predetermined distance only is provided to the mobile equipment 20 and the card 22, and the mobile equipment 20 makes a routine inquiry of the card 22 so as to confirm the presence of the card 22. When no reply of the card continues for a predetermined number of times or over, the registration of the card 22 is relieved. When a call comes to the mobile equipment 20, it is reported to the card 22, which reports the arrival of the call to the carrier of the card by light, sound (71) Applicant: **FUJITSU LTD**

(72) Inventor: MATSUMURA GAKUO SHIMADA TOSHIHARU

or vibration. In this case, when the absence of the

subscriber is discriminated, it is reported to the network.



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-95652

(43)公開日 平成7年(1995)4月7日

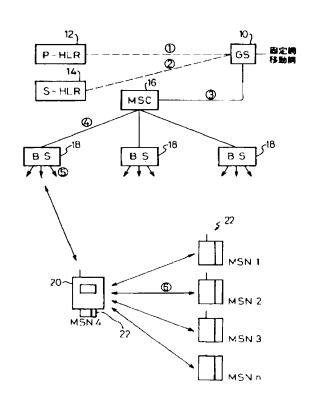
(51) Int.Cl. ⁶		藏別記号	庁内整理番号	FI			;	技術表示箇所
H 0 4 Q	7/34							
	7/22							
	7/28							
			7304-5K	H 0 4 Q	7/ 04		С	
			7304 - 5K				J	
				審査請求	未請求	請求項の数13	OL	(全 8 頁)
(21)出願番号	}	特顧平 5-233767		(71)出職人	000005223			
					富士通	朱式会社		
(22)出顧日		平成5年(1993)9		神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地				
				(72)発明者	松村	会夫		
					神奈川リ	県川崎市中原区 」	上小田中	中1015番地
					富士通標	朱式会社内		
				(72)発明者	島田	党治		
				1	神奈川リ	川崎市中原区」	小田中	中1015番地
					富士通株式会社内			
				(74)代理人		字井 正一	(外4 4	ጟ)

(54) 【発明の名称】 個別番号付与移動通信システム

(57)【要約】

【目的】 個別番号付与移動通信システム及びそのための移動機とカードに関し、移動機に着信があったとき即座にどの加入者に着信があったのかを知ることができ、加入者が移動機への登録解除を忘れたときでも自動的に解除され、移動機のそばにいない加入者へ着信があったときへの対処手段を備えた個別番号付与移動通信システム及びそのための移動機とカードを提供することを目的とする。

【構成】 移動機20とカード22とが所定の距離以内にあるときのみ通信が可能な、例えば、小電力による送受信手段を移動機20とカード22に設け、定期的に移動機20からカード22へ問い合わせをすることにより、存在を確認する。所定の回数以上無応答が続いたら、カード22の登録を解除する。移動機20に着信があったとき、カード22へ通知し、光、音、振動によりカードの携帯者へ伝える。この時に加入者不在と判断されたら、その旨を網へ通知する



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話番号を付与された加入者個人を認識する情報を格納したカートを移動機に挿入して通話を行なう個別番号付与移動通信ンステムであって、

1

該移動機と該移動機から所定り距離以内に存在するカー エとり間で通信する手段を具備することを特徴とする個 別番号付与移動通信システム

【請求項2】 前記通信手段を介して前記移動機から前記カードへ問い合せを行ないカードから応答を受け取ることによって該カードの存在を定期的に監視する手段をさらに具備する請求項1記載の、ステム

【請求項3】 前記定期監視手段により所定回数以上カードが存在しないと判断されるとき、前記移動機に対する該カートの登録を解除する手段をさらに具備する請求項2記載カーステム

【請求項4】 前記カートに対応する電話番号への着信が前記移動機にあったとき、前記通信手段を介して該カードへ着信を通知する手段と、

該カートが該着信通知を受けたとき、加入者へ着信を知らせる手段をさらに具備する請求項1,2又は3記載の 20→ステム

【請求項5】 前記定期監視手段により存在しないと判断されるカートへ着信があったとき、加入者不在のメッセージを返す手段をさらに具備する請求項2又は3記載のシステム。

【請求項6】 前記着信通知手段が著信を通知した後所 定時間が経過するまでにカードが挿入されないとき、加 人者不在のメッセージを返す手段をさらに具備する請求 項4記載のシステム。

【請求項7】 電話番号を付与された加入者個人を認識 30 する情報を格納したカードを移動機に挿入して通話を行なう個別番号付与移動通信システムのための移動機であって

所定の距離以内に存在するカートとの間で通信する手段 を具備することを特徴とする個別番号付与移動通信にフ テムのための移動機。

【請求項8】 前記通信手段を介して前記カードへ問い合わせを行ないカードから応答を受け取ることによって 該カートの存在を定期的に監視する手段を含らに具備する請求項で記載の移動機

【請求項9】 前記定期監視手段により所定回数以上カートの存在しないと判断されるとき該カードの分録を解 除する手段を含らに具備する請求項8記載の移動機

【請求項10】 登録されたカードに対応する電話番号 への名信があったとき、前記通信手段を介して詩カード へ名信を通知する手段をさらに具備する請求項で、8 には9 記載の移動機

【請求項11】 電話番号を付与された加入者個人を認識する情報を格納したカードを移動機に挿入して通話を 行なう個別番号付与移動通信システムのこめのカードで 50 あって、

所定の距離以内に存在する移動機との間で通信する手段 を具備することを特徴とする個別番号付与移動通信シス テムのためのカード

【請求項12】 前記通信手段を介して移動機から問い 合わせがあったとき応答を返す手段を具備する請求項1 1記載のカード。

【請求項13】 前記通信手段を介して移動機から着信通知があったとき加入者へ着信を知らせる手段をさらに 具備する請求項11 又は12記載のカート

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】 本発明は、電話番号を付与された加入者個人を認識する情報を格納したカード (ICカード) を移動機に挿入して通話を行なう個別番号付与移動通信、ユテム及びそのための移動機とカードに関する。

[0002]

【従来の技術】1つの移動機(例えば自動車電話等)を 複数の加入者が共同利用でき、それぞれの加入者に課金 処理を行なう移動通信方式が計画されている。これは、 加入者へ個人番号を付与し、認証キー等を記憶したカートを加入者が携帯しておくことにより実現される。まず、加入者が移動機へカードを挿入し交換機のデータベースへどの移動機へ着信させるかを記憶させる。発信者は加入者の個人番号をダイヤルするだけで加入者がどの移動機にいるか意識することなく発信を行う。発信を受けた交換機はデータ、一スを参照して加入者がどの移動機へ登録されているが、その移動機はどの位置にいるのかを確認し着信処理を行う。加入者は移動機が呼び出されるとカートを挿入し、認証処理が行われ加入者の正当 性が確認されると通話、移行する。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】この方式では次の点が 現在の課題となっている。

● 移動機に着信があったとき単にベルを鳴らして加入者の電話番号を表示するだけでは、即座に複数登録加入者の中の誰か呼ばれているかを判断するのが困難である。

② 加入者が移動機への登録解除を忘れたときの対処方法が明確でない。

③ 加入者が移動機の光ばにいないとき、該当加入者以 外の人は着信を受けることができないため対処方法が必 要である。

【0004】したが、て本発明の目的は、移動機に着信があったとき即座にとの加入者に着信があったのかを知ることができる個別番号付与移動通信システム及びそりための移動機とカードを提供することにある。本発明の他の目的は、加入者が移動機への登録解除を忘れたときでも目動的に登録解除される個別番号付与移動通信システム及びそのための移動機とカードを提供することにも

- 2

3

【0005】本発明の他の目的は、移動機のそばにいな い加入者へ着信があったときへの対処手段を備えた個別 番号付与移動通信システム及びそのための移動機とカー 子を提供することにもる。

[0006]

【課題を解決するための手段】本発明によれば、電話番 号を付与された加入者個人を認識する情報を格納したカ 一下を移動機に挿入して通話を行なう個別番号仕与移動 通信レステムであって、診移動機と該移動機から所定の 10-距離以内に存在するカードとの間で通信する手段を具備 することを特徴とする個別番号仕与移動通信システムが 提供される。

【0007】本発明によれば、電話番号を付与された加 入者個人を認識する情報を格納したカードを移動機に挿 入して通話を行なう個別番号付与移動通信レステムのた めの移動機であって、所定の距離以内に存在するカード との間で通信する手段を具備することを特徴とする個別 番号付与移動通信レステムのための移動機もまた提供さ

【0008】本発明によれば、電話番号を付与された加 人者個人を認識する情報を格納したカートを移動機に挿 入して通話を行なう個別番号付与移動通信システムのた めのカードであって、所定の距離以内に存在する移動機 との間で通信する手段を具備することを特徴とする個別 番号付与移動通信システムのためのカードもまた提供さ れる。

【0009】

【作用】所定の距離以内にある移動機とカードとの間で の通信手段を具備することによって、後に詳述するよう。 に、着信したことを加入者へ直接知らせること、自動登 録解除、及び加入者不在のメッセージを返せことが可能 となる。

[0010]

【実施例】図1は本発明に係る個別番号付与移動通信シ ステムの一実施例を表わす図である。図1において、こ の個別番号付与移動通信システムは関門移動通信交換局 (GS: Gateway Mobile-Services Switching Center) 10 を介して他の固定網或いは移動網に接続される。GSI 0からは加入者に関する情報を格納する加入者ホームロ 40 ゲーションレジスタ(P=HLR:Home Loco tion Register) 12及び移動機に関する 情報を格納する移動機ポームロケーションレジスタ(S ーHLR) 14にアクセスすることができる。

【0011】GS10はネットワークを介して多数の移 動通信交換局(MSC・Mobile Services Switching Cente r) 16と接続され、各MSCI6にはさらに多数の基地 局(BS:Base Station)18可接続される。BS18上移 動機20とは無線回程で接続される。各移動機20には カード22が挿入可能であり、挿入されていないカード。50。 にいたいということが判断できる。こりような場合は登

とは小電力無線通信により相互に通信することが可能で ある。図では、加入者番号MSN4 (MSN: Mobi le Subscriber Number)が付与さ れたカー上が挿入され、その他のカードとは小電力無線 通信により通信している状態が示されている

【0012】P=HLR12には各加入者に付与された 電話番号MSN毎に、それぞれの加入者が登録した移動 機の識別子MS I (MSI: Mobile Station Identity)すな わち着信登録MSI、加入者を認証するためのP-認証 |キー等が格納される||S-HLR14には、各移動機の 識別子MSI毎に、それぞれの移動機を呼び出すエリア を示す位置番号し1(Location Identi ty)、とのルートで着信すれば良いかを示すルーチン ゲ番号PRN (Pursuit Routing Nu mber)、移動機に登録された加入者番号MSNのじ スト、及ひ移動機を認証するためのS-認証キー等が格 納される。前記のP‐HLR12に格納される移動機の 識別子MSI及びS-HLRに格納されるMSNのリア トは、移動機20にカード22を挿入することによって 登録される。

【0013】図1に示したシステムにおいて、加入者カ - ドの登録方法及び登録された移動機の近傍に加入者カ ---ドが存在するかの確認をとる方法を説明する。加入者 はカード22を移動機20〜挿入し、移動機への登録を 行うと、移動機20は加入者が登録されたことを網へ通 知する(既存機能)。これと同時に移動機20はメモリ 内に表1の形式の加入者のテーブルを作成する。カート を挿入している加入者以外のカード22には定期的に登 録加入者か実際に周辺にいるか確認するために小電力の 電波を使用し確認をとる。確認結果を登録加入者テープ ルの加入者状態パラメータへ記憶する。

[0014]

【表 1 】

登録加入者テーブル 表 1

Na	加入者番号	加入者状態	NG回数
MSNI	1234567	0. K	0
MSN2	1234568	0. K	0
MSN3	1234569	0. K	0
NSN4	1234560	カードIN	
MSNn	9999999	0. K	0

【0015】定期確認がとれないとき、例えば通信手段 こ小電力の電波を使用している場合は半径100m以内 録加入者テーブルの加入者状態パラメータをN. Gとし て、次回の定期確認を待つ。それとともに、表1に示さ れるように、NGの回数をカウントする。N回目の定期 確認を失敗した場合、移動機20は加入者が登録解除を **忘れたと判断しくモリ内のな録加入者テーブルから削除** し、網側へ該当加入者の登録解除要求を自動的に送出に ることにより加入者の登録解除亡れを防止する。

【0016】次に、図1のシステムにおいて、番号MS N (A) が付与された加入者Aに着信があったときの処 理をは下ご説明する。図上中に付された番号①~⑥はは 10. 下の項番号●~⑥にそれぞれ対応する。

【0 0 1 7】**①** 加入者Aに着信があった場合、G S 1 Oは、加入者AのMSN(A)からPーHLRを認識し P-HLRアクセスを行う。P-HLRでは、MSN (A)をキーとして、P。認証キー、着信登録MSI (A) 等を得る

② GS10は着信並録MS1(A)をキーとしてS-認証キー、LI、PRNをS・HLRより得る。

③ GS10は、PRNを用いてMSC16ペルーチン グを行う。

① してから呼出を行うエリアを決定する。

6 位置登録エリア (…・斉呼出エリア) 全体に一斉呼出 をかける。

⑥ 呼び出された移動機は呼出音を送出するとともに、 **小電力無線通信によりMSN(A)に対応するカード2** 2~着信を通知する。着信通知を受けたカード22は、 呼出音、光、振動等で加入者に着信を知らせる。呼び出 された加入者が移動機にカートを入れると、認証処理が 行われ加入者の正当性が確認されると、着信処理が行わ れ通話が可能となる。

【0018】定期確認かとれない加入者への着信かあっ た場合、移動機20は表1に示した登録加入者デーブル の加入者状態から加入者が現在対応できないことかわか るので応答として加入者不在等のメッセージを乗せた信 号を送出し、網側へ通知する。なお、上記の処理では、 定期確認時に移動機の近傍にいなして、その後、加入者 か戻ってきた場合にも、加入者が呼び出されないという。 問題がある。この問題に対処するためには、登録加入者 デーブル内の加入者状態にかかわらす当該カードへ着信 通知を连出し、所定時間経過するまでにカートが挿入さ れないとき、加入者不在のメーセージを送出するように すれば良い

【0019】国皇は本発明の一実施例に係り、上記の処 理を実現する移動機20の構成を表わずでロック図であ る。信号还受信部30、制御部32、及びカード解析部 34により、従生の個別番号付与移動通信システムのた めの移動機としての機能が実現される。移動機20はさ らに、去1に示した登録加入者デーブルを格納するため。 カメモリ36を具備し、信号连受信部30は、カード2 2との通信を行たうときは制御部32からの制御により、50 目でもる。本発明に係るウード22は、従来り個人番号

電力を下げて小電力とする機能を有している。

す。定期確認タイマが満了すると(ステップa)、確認 の対象となっているカードが挿入されていなければ定期 確認信号を送出! (ステープb) 、応答待ちタイマを起 動する(ステープで)。応答待ちタイマが満了する前に カードからの応答があれば、応答待ちゃくでを停止し (ステープd) 、登録加入者デーブルの当該カーFの加 人者状態の欄に"OK"を書き込み(ステップe)、定 期確認タイマを再起動して (ステープ子) アイドル状態 に戻る。ステップとにおいて応答待ちタイマを起動した 後、ガードからの応答がない間に応答待ちタイマが満了 したら、登録加入者デーブルの当該カードのNG回数の 欄を調べ(ステップg)、それがNに達していなければ カウントアーブして (スティブh) 、スティバEに合流 する。N回に達していれば、当該加入者をサーブルから 削除し(ステップ)、網に対して登録を解除するため の信号を送出して(ステップう)、アイドル状態へ展 る。ステップ a の定期確認タイマ満了時に、確認の対象

となっているカードが既に挿入されていれば、登録加入

者デーブルの当該カードの加入者状態の欄に"OK"を

書き込んで(ステップ k)、アイトル状態に戻る。

【0020】図3に定期確認時の制御部32の処理を示

【0021】図4は移動機20に着信かあったときの制 御部32の処理を表わす。呼び出し信号を受信したら。 (ステップa)、春録加入者デーブルを参照して該当加 入者の状態を調べ(ステップb)、状態がOKであれば 加入者のカートへ呼出信号を送出して(ステップc)、 応答待ちタイマを起動する(ステップd)。応答待ち夕 イマか満了するまでにカードが挿入されたら、通話のた めの処理を開始する。カードが挿入されない間に応答符 ちタイマが満了したら、応答待ちタイマを停止した後 (ステップe) 、網に対して加入者不在信号を送出し (ステップ子) 、登録加入者デーブルの当該加入者の欄 に"NG"を書き込み(ステップg)、定期確認タイマ を再起動して(ステップ h)、アイトル状態に戻る。ス デップもにおいて当該加入者の状態を調べたときに、加 人者状態がNGであれば、直ちに網へ加入者不在信号を 送出するようにしても良いか、定期確認後に加入者か展 - てくる場合のことも考慮して、状態がOKであるとき と同様に、加入者のカード、呼び出し信号を送出して (ステーケェ) 応答待ちタイマを起動する (ステップ - タイマが満了するまでにカートが挿入されれば、 加入者状態の欄に"OK"を書き込み(ファーフk)、 通話さたどの処理を開始する。カードが挿入されない間 にタイマが満了したら、応答待ちタイマを停止してユニ

【00日2】[4]5はカード2日の構成を表わすフロック

マグロ)、網回加入者不在信号を注出して(フラップ)

m)、定期確認タイマを起動して(フテーTn)、アイ

日ル壮態に戻る

付与移動通信システムのためのカードに必要な構成の他に、移動機20と小電力で無線通信するための信号達受信部40、制御部42、及び着信時に音、光、及びデ又は振動により加入者へ者信を知らせるための呼出装置44を具備している

【0023】図6に定期確認時の制御部42の処理を示す。制御部42は、移動機20から定期確認信号を受信。 【図3】定1 したら(ステップa)、移動機20小応答を送信して チャートで、(ステップb)、アイドル状態に戻る。図7に着信時の 制御部42の処理を示す。制御部42は、移動機20か 10 一トである。 5呼出信号を受信したら(ステップa)、音、光、及び / スは振動により加入者へ着信を知らせ(ステップ 【図6】定1 カ・ノスは振動により加入者へ着信を知らせ(ステップ 【図6】定1 カ・アイドル状態に戻る

[0024]

【発明の効果】 1 台の移動機に複数の加入者が登録できる移動通信網において、発信者には移動機の番号を意識させることなく、着信者においては該当する加入者が迅速に対応することができる。また、該当加入者が移動機の周辺にいないときも他の登録加入者を困惑させることなら移動機が加入者の状態を把握することにより、個別 20に対応できる。加入者が登録解除を忘れた時も同様に、*

* 移動機の判断により自動的に解除が行えることより発信 者に対しても、柔軟な対処を行うことができる

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る個別番号付与移動通信システムの - 実施例を表わまプロック図である。

【図2】移動機20万構成を表わすブロック図である

【図3】定期確認時の制御部32の処理を表わすフローチャートである

【図4】 着信時の制御部32の処理を表わすプローチャートである。

【図5】カード22万構成を表わすブロック図である

【図6】定期確認時の制御部42の処理を表わすフローチャートである

【図7】 着信時の制御部42の処理を表わすフローチャートである

【符号の説明】

10一関門移動通信交換局

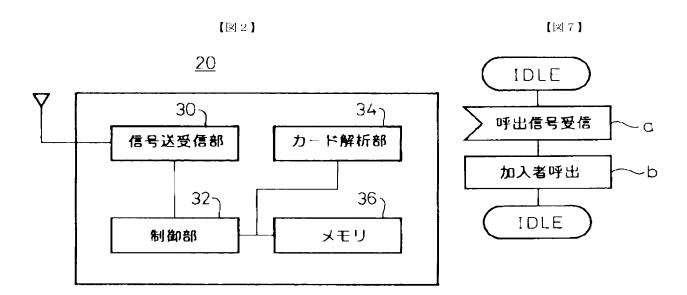
16・移動通信交換局

18一基地局

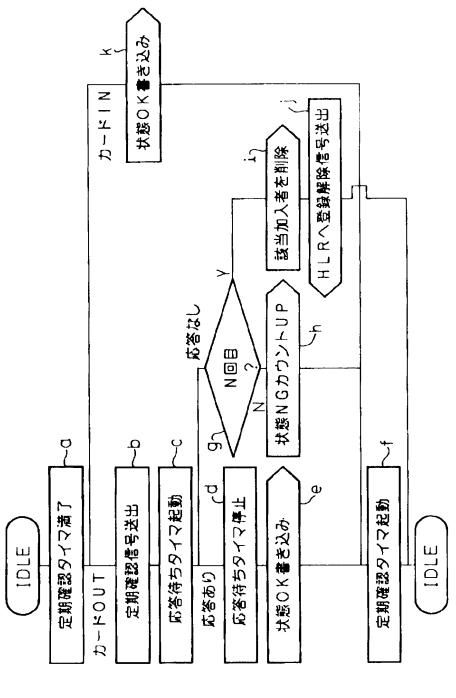
20 移動機

22・カード

【図1】 【図5】 22 12 P-HLR 14 40 16) 信号送受信部 S-HLR 哑 MSC 出 装 制御部 B S s 22 [[4]6] IDLE 定期確認信号受信 定期確認応答送信 MSN n IDLE



[図3]



【図4】

